

第2期桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（改定案）に対する委員意見への対応

基本目標 1

地域の資源を活用した魅力ある雇用を創出する

施策の方向性	施 策	取組内容	委員意見	意見に対する対応	担当課
(1)しごと環境の創出			KPIに「製造業新規立地数」を設定しているが、群馬県は製造業が主力ということもあり、県内どの市町村も工業団地を造成して製造業を誘致することを掲げている。桐生は土地の余裕があまりないので、大規模な開発はなかなか難しいのだと思うが、例えば、今後DX推進と言われているのでIT産業とか、ものづくりや繊維産業が盛んなのでクリエイティブ系の企業を誘致していくなど独自性を出していくと、他自治体との差別化が図れていいのではないかと思った。	委員ご意見のとおりであり、基本目標における「基本的方向」の中で記載を追加した。 <u>※資料2：11ページのとり文章を修正</u>	商工振興課

基本目標 3

安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるよう、若い世代の希望をかなえる

施策の方向性	施 策	取組内容	委員意見	意見に対する対応	担当課
(1) 婚活支援等による若者の支援	1. 婚活支援等による若者の支援	① 婚活支援を行っている団体との連携を図りながら、結婚したい人の希望をかなえるための取り組みを推進します。	出生が低いのは何が原因なのかを検証し、増やすための策を盛り込むことが非常に重要がある。未婚が増えているので、例えば、今マッチングアプリをやっている若者が多いし、今回デジタル化の推進が項目として追加されたので、そのような具体的な項目を盛り込んでもいいと思う。	本総合戦略は取組の方向性を示すものであるため、委員のご提案を含め、婚活支援に係る具体的な取組については、施策を推進する中で検討してまいりたい。 <u>※資料修正なし</u>	企画課

基本目標 4

広域的な視点かつ将来を見据えた、地域の特徴に応じたまちづくり

施策の方向性	施 策	取組内容	委員意見	意見に対する対応	担当課
(3)安全・安心なまちづくり	1. 地域防災力の向上	① 自主防災組織への支援を行うとともに、自主防災組織未結成の地区に対しては、引き続き災害時における自助・共助の重要性について周知・啓発を図り、自主防災組織の結成を促します。 ② 講演会や出前講座等を通じて、防災に関する意識啓発を図ります。	色々な施策を増やすのはいいが、結局予算が付いたものだけやるみたいな形になっているので、力を分散しているようなことになってしまっているのではないかと危惧している。何かを達成するための手段が新たな目標になっているのではないかと思う。例えば、基本目標4（3）災害に強い都市づくりの中に（2）地域防災力の向上は手段として含まれるのではないかということを意見として出している。	今般の改正で増えたのは、公民連携やデジタル化の推進、また、市長の公約に関連する施策など、人口減少克服・共生ならでの地方創生を推進する上で必要となる施策であり、全て重点的に取り組むものである。 また、例にあげられた施策「1. 地域防災力の向上」は、主に自助・共助による地域防災力の向上を図るものであるのに対して、施策「2. 災害に強い都市づくり」は、土砂災害や水害などの被害を防ぐためのハード整備や耐震改修の促進などを図るものであり、それぞれ別の施策としている。 ※資料修正なし	企画課
	2. 災害に強い都市づくり	① 人家に被害を及ぼす恐れがある急傾斜地の崩壊を未然防止するため、県と連携した対策を継続します。 ② 溢水や越流、洗堀が起こらないように、河川・水路の適切な維持管理を行います。 ③ 市民の地震に対する意識の向上を図り、木造住宅耐震改修事業の利用を促進します。			
(4)自然・歴史・文化を生かしたまちづくり	6. 温暖化対策の推進	① 「ゆっくりズムのまち共生」宣言の理念である環境にやさしいライフスタイルを市民に啓発するとともに、温室効果ガス排出量の削減を図ります。	ゆっくりズムのまちをキーワードにSDGs未来都市に選定されたと思うが、ゆっくりズムは基本目標4・施策の方向性「（4）自然・歴史・文化を生かしたまちづくり」中の「6. 温暖化対策の推進」にしか出てこない。ゆっくりズムは温暖化対策の推進だけではなく、色々な価値観を転換することで持続可能な地域をつくるという話であり、全ての施策に対してゆっくりズムの発想で価値転換をしないから、結局目標が達成されず持続不可能なまちづくりをしていることになっているのではないかとと思う。	委員ご意見のとおり、ゆっくりズムは全ての施策に関わるため、序論の「総合戦略の目標」において、ゆっくりズムの理念に基づいて施策を推進する旨の記述を追加した。 ※資料2：6ページのとり文章を修正	企画課